



青木酒造株式会社（雪氷熱利用）

事業内容

補助事業の名称	雪エネルギー棟への雪氷熱利用による低温貯蔵庫設置事業
設置場所	鶴齡の雪室（新潟県魚沼市）
補助事業の概要	地域資源である雪の貯雪庫を建設し、蓄えられた雪で熱交換された冷風を清酒の低温貯蔵と低温熟成に用いるための設備を設置する。
事業年度	平成28年度

給湯	空調	規模・能力	貯雪量400t
融雪	他	年間総発熱量	37.4GJ

補助対象経費（千円）	補助金額（千円）
54,660	18,220

導入効果

削減コスト（年間）484千円
化石燃料の削減率 88%



施設全景



貯雪庫



雪入れの様子

◆事業の特徴

雪入れは投雪によって行われるため、その際に設備に破損が生じないように貯雪庫内部は余計な凹凸がない。

安定した温度の冷風が低温貯蔵庫に供給されることに加え、空気中に浮遊する塵などが雪の表面に吸着され、循環する空気が浄化される。

地域に豊富に存在する雪で必要な熱量が十分賄えることに加え、通常の冷房よりも雪冷房の方が酒の品質がよくなり、製品の付加価値が高くなった。